

日本側／相手国側投入実績一覧表

平成 12 年度 第 3 四半期現在

専門家派遣及び機材供与

細目	予算年 月	第 1 年目 (平成 10 年度)												第 2 年目 (平成 11 年度)												第 3 年目 (平成 12 年度)												
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
専 門 家 派 遣	長期	リーダー (五百木篤／960716-990515)																																				
		参加型森林保全 (河本順子／960716-990331)																																				
		森林管理技術 (五関一博／981012-010311)																																				
		業務調整 (関野良一／981012-010715)																																				
		参加型森林保全 (合原裕人／990124-010714)																																				
		チーフアドバイザー／森林管理システム (岩佐正行／990506-010505)																																				
		森林管理システム (飯田敏雅／001004-021003)																																				
		(延長)																																				
		短期 10 年度	農業生産改善 (江口義弘／98/9/1-98/9/23)																																			
			地域開発・グラウンドワーク (千頭聡／990220-990315)																																			
炭焼き (個別短専) (藤井賢治／990318-990402)																																						
温帯果樹生産振興 (個別短専) (岡崎勇／990408-990605)																																						
短期 11 年度	紙漉き (個別短専) (濱田康／991017-991214)																																					
	苗畑経営 (第三国専門家) (Somdet Champee/991201-991228)																																					
	分収林収益見通し分析 (小川博史／000214-000311)																																					
	森林土壌 (吉岡二郎／000316-000514)																																					
	苗畑技術開発 (植田守／000407-000519)																																					

細目	予算年 月	第1年目(平成10年度)												第2年目(平成11年度)												第3年目(平成12年度)											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
機材	短期 12年度	大量苗木生産技術 (植田守/001117-001221) 手漉き紙制作 (濱田康/010122-010319の予定) 分収林収益見通し分析2 (小川博史/日程調整中) 苗畑経営(第三国専門家)…(年度内派遣で調整中) (Somdet Champee)																																			
	供与 機材	10年度 (○) なし (△) 平成11年度へ繰越																																			
	携行機材	(○) 五関長期専門家分: パソコン(1) (○) 合原長期専門家分: パソコン(1)																																			
機材	供与 機材	11年度 (○) 四輪駆動ワゴン、四輪駆動ピックアップトラック、作業用手工具 (△) 小型バックホーローダー(1)、コンピューター式(2)、モーターバイク(6)、一輪車(5)、簡易型ココナッツ粉砕機(2) 現地調達実施計画額 10,660千円(前渡資金送金額)																																			
	繰越	(△) 事務用機材一式、マイクロバス(1)、小型四輪トラック(1)、モーターバイク(4)、無線機一式、パーソナル・コンピューター式(2)。 現地調達実施計画額 10,730千円(前渡資金送金額)																																			
	携行機材	(○) 岩佐長期専門家分: フィルムスキャナー、スライドフィーダー、インクジェット専用紙 (○) 濱田短期専門家分: 紙漉き機材一式																																			
機材	供与 機材	12年度 (○) トラック(1)、打解機(1)、デジタルビデオカメラ(1)、彫刻ドリル(1)、カメラ(1) (△) スプリンクラーシステム、パソコン一式(4セット)、コピー機、印刷機、船外機付き小型木製ボート 現地調達実施計画額 2,216千円(スプリンクラーシステム及び船外機付き小型木製ボートを除く前渡資金送金額)																																			
	携行機材	(○) 飯田長期専門家分: ノートパソコン(1) (○) 植田短期専門家分: ろ紙、ピンセット、アルコールランプ、シリコン栓、プリンター用紙、ホワイトラベル、園芸ペン																																			

※プロジェクト実施期間は5年間(1998年7月16日~2003年7月15日)

(注1) 長期専門家、短期専門家とも氏名、指導科目、派遣期間(日付入りバーチャート)記入。

(注2) 機材の欄には本邦購送分(○)と現地調達分(△)に分けて毎年度毎の合計金額及び主用品目名を記入。

6-2 研修員受入、現地活動経費、相手国側投入実績、その他

細目	予算年		第1年目(平成10年度)												第2年目(平成11年度)												第3年目(平成12年度)												
	月	年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
C/P 日本研修	アグロフォレスト (Mr. Lattana PHAXAYSOMBATH 1998/8/16-1998/10/18)																																						
	リー 森林計画 (Mr. Phetsakhone SOULYALATH 1998/9/27-1998/11/27)																																						
			森林・保全復旧 (Mr. Somdy SIVONE 990208-990306)																																				
			森林・保全復旧 (Mr. Boonsy SOUMPHONPHAKDY 990208-990306)																																				
			地域住民参加型林業の運営管理(地方枠) (Mr. Bouala CHANTHIRATH 990920-991125)																																				
			地域住民参加型林業の運営管理(地方枠) (Mr. Oudong KEOMIPHETH 990920-991125)																																				
			地域住民参加型林業の運営管理(プロジェクト枠) (Mr. Osa PHOMMASOLIDEETH 990920-991125)																																				
			地域住民参加型林業の運営管理(プロジェクト枠) (Mr. Siamphay SISOMXOUNE 990920-991125)																																				
			森林・林業行政 (Mr. Phouthong SENSOU LINTHA 991017-991103)																																				
			森林・林業行政 (Mr. Houmphanh SALAMANY 991017-991103)																																				
			Sustainable Agricultural Production in the Tropics (第三国研修)												(Mr. Khounphayvanh KHONSAVATHDY 000110-000218)																								
			集団：持続可能な森林経営の実践活動促進 (Mr. Bounmanh KEOMORAKOTH 000813-001105) _____ 林業プロジェクト C/P 合同研修 (Mr. Khamphanh XANETH 000820-001015) _____ C/P 研修：森林・林野行政 (Mr. Soun THONGKHAM 000825-000913) _____ C/P 研修：森林・林野行政 (Mr. Khamphanh SENGCHANTHAVONG 000825-000913) _____ 地方枠：地域住民参加型林業の運営管理 (Mr. Daovieng SAYSANA 000924-001124) _____ 地方枠：地域住民参加型林業の運営管理 (Mr. Paotao CHERCHING 000924-001124) _____																																				
現地活動経費	計画額 19,456 千円												計画額 31,498 千円												計画額 31,874														
	実績額 16,487 千円												実績額 31,498 千円												実績額														
相手国側 投入実績	[職員配置人数]																																						
	プロジェクト・ディレクター			_____ (1名-PAFO)																																			
	プロジェクト・マネージャー			_____ (1名-常駐)																																			
	森林管理システム			_____ (4名-常駐)												_____ (3名-常駐)																							
	森林管理技術			_____ (6名-常駐)												_____ (0名-常駐)												_____ (0名-常駐、2名-DAFO)											
	参加型森林保全			_____ (3名-常駐)												_____ (3名-常駐)												_____ (4名-常駐)											
	総務			_____ (2名-常駐)												_____ (3名-常駐)												_____ (4名-常駐)											
[支出予算額] 30,000,000 キップ (ラオス 1998-1999)			[支出予算額] 60,000,000 キップ (ラオス 1999-2000)												[計画額] 147,000,000 キップ (ラオス 2000-2001)																								
[主要な調達資機材] 事務用品			[主要な調達資機材] 事務用品												[主要な調達資機材] 事務用品																								

調査団	運営指導調査団（1人） (98/10/25-98/10/29)	運営指導調査団（2名） (99/2/12-99/2/20)	運営指導調査団（1名） (99/10/23-99/10/28)	運営指導調査団（5名） (010108-010119の予定)
リーダー会議		五百木篤／東京 (99/1/30-99/2/11)	岩佐正行／東京 (000124-000206)	岩佐正行／東京 (010123-010202の予定)
調整員会議			関野良一／クアラルンプール (991017-991024)	
国内委員会等				国内委員会（001108）

無償資金協力概要 ①内容：

②E/N時期：

③金額：

④完了時期

(注1) C/P 日本研修の欄には、氏名、研修科目、受入期間（日付入りバーチャート）を記入

(注2) 現地活動経費欄には、現地業務費及び実施計画諸費の年度毎の合計支出額を、各々上段、下段に記入。

(注3) 相手国側投入実績欄には、C/P を含む部門毎の職員配置人数、支出予算額、主要な調達資機材等を記入。

(注4) 調査団の欄には、調査団名、人数、派遣期間（日付入りバーチャート）を記入。

(注5) リーダー会議、調整員会議の欄には、出席者名、開催場所、開催期間（日付入りバーチャート）を記入。

(注6) 国内委員会等の欄は、本部で記入。

C/P 配置一覧表

平成 12 年度 第 3 四半期現在

分野	No	C/P 名 予算年 月	配置状況			本邦研修		備考 (技術移転/技術習得状況等 に関するコメント)	
			平成 10 年度	平成 11 年度	平成 12 年度	年度	主な研修先		
			4 7 10 1	4 7 10 1	4 7 10 1				
プロジェクト ディレクター	1	Phouthong SENSOULINTHA	7	—	—	11	林野庁等	ヴィエンチャン県農林局長 研修期間:991017-991103	
プロジェクト マネジャー	2	Houmphanh SALAMANY	7	—	常駐	11	林野庁等	研修期間:991017-991103	
テクニカル・マネジャー	3	Khampha CHANTHIRATH	—	—	常駐	8	UNCRD	研修期間:97/3/30-97/6/3	
アドミニストレイティブ・マネジャー	4	Somdy SIVONE	7	—	常駐	10	林野庁等	研修期間:990208-990306	
森林管理 システム	5	Boumnanh KEOMORAKORT	—	8	— 11	常駐	12	八王子センター等	研修期間:000813-001105
		Sithanonsay NOUNXAYTHIP (Osa PHOMMASOULIDETH)	7— 8 11	—	— 12	(参加型森林 保全)	11	岐阜林業短大等	研修期間:990920-991125
	6	Siamphay SISOUXOUN	7	—	—	常駐	11	岐阜林業短大等	研修期間:990920-991125
	7	Khounphayvanh KONESVATHDY	—	7	— 11	常駐	11	カセサート大学 (第三国研修)	研修期間:000109-000220
森林管理技術	8	Phetsakhone SOULIGNALATH Thongbai PHOMMAVONGSAY	—	9— 11 7	— 5	常駐	10	岐阜林業短大等	研修期間:980927-981127

9	Oudong KEOMIPHET		9—11	常駐	11	岐阜林業短大等	研修期間:990920-991125
10	Daovieng SAYSANA			常駐	12	岐阜林業短大等	研修期間:000924-001124
11	Bouala CHANTHIRATH		9—11	常駐	11	岐阜林業短大等	研修期間:990920-991125
12	Phouvanh THONGVILAY		5	常駐			
13	Daomany KHEIMVIXAY		5	常駐			
14	Somphone SINTHAVONG		9	常駐			
15	Khamphanh XANETHI		10	常駐			
	Phonephet MANYXAY		7—11	(ヒンフープ郡)			
16	Phonexay		11	ヒンフープ郡			
17	Bounkham INTACHAK		1	常駐			
18	Vong		9	ヴァンウァンイエン郡			

参加型森林 保全		(Somdy SIVONE)	(森林管理技術)	11	常駐				
		Lattana PHAXAYSOMBAT		10					
		Teuanchith ALOUNLASY	8—10			10	筑波センター等	研修期間:980816-981018	
	19	Bounpheng SAYAVONG					9	岐阜県林業短大	研修期間:970921-971107
	20	Phaothao CHERCHING		5	常駐		9	岐阜県林業短大	研修期間:970921-971107
	21	Osa PHOMMASOULIDETH	11	12	常駐		12	岐阜県林業短大	研修期間:000924-001124
			(森林管理システム)						
総務	22	Bouala XAYSAWATH		1	常駐				
	23	Bounnhou INTHAPATTHA	12		常駐				
		Khammany ATSAYAVONG	12	3					
	24	Siamphone PHOUNSAVATH		9	常駐				

(注1) 配置状況はバーチャート方式により記入 (— 配置実績、 — 本邦研修) (注2) 分野は原則として日本人専門家の担当分野(指導科目)に対応させる。

(10万円以上160万円未満の機材)

平成11年度 第3四半期現在

供与年度 (平成)	番号	機材名 (メーカー・規格・能力)	供与 数	処分 数	現有 数	利用 状況	管理 状況	備考 (特記事項)
8	1	コンピューターデスクトップ型 (COMPAC DESKPRO)	1	0	1	A	C	AFC 森林管理技術部門 C/P 分収林活動の情報整理及び資料、報告書等の作成に使用。 落雷と電圧変動による電源回路不良、ディスプレイ不良等に対する頻繁な修理を行っている。 (マザーボードチップ接触不良?)
8	2	コンピューターデスクトップ型 (COMPAC DESKPRO)	1	0	1	A	C	AFC 管理部門 C/P ラオス側で人事管理、機材管理、文書作成等に使用。 落雷と電圧変動による電源回路不良等に対する頻繁な修理を行っている。 (マザーボードチップ接触不良?)
8	3	コンピューターノート型 (COMPAC ARMADA 1120)	1	0	1	A	C	AFC 参加型森林保全部門 C/P 参加型森林保全活動の情報整理及び資料、報告書の作成、更にラオス側定期報告書の作成に使用。 バッテリー交換要 (旧機種のためバッテリー入手不可)、ハードディスク/メモリー容量不足。
8	4	コンピューターノート型 (COMPAC ARMADA 1120)	1	0	1	A	C	AFC 森林管理技術部門 分収林活動の情報整理及び資料、報告書等の作成に使用。 バッテリー交換要 (旧機種のためバッテリー入手不可)、ハードディスク/メモリー容量不足、AC電源不良。
8	5	コンピューターデスクトップ型 (ATEC PREMIER PRO)	1	0	1	A	B	ヴィエンチャン連絡事務所 秘書 現地業務費受払管理及び会計報告書等の書類の作成に使用。
8	6	コンピューターデスクトップ型 (ATEC PREMIER PRO)	1	0	1	E	C/D	AFC 専門家及びC/P GIS用 マザーボード不良修理中 (電圧不安定及び屋外から侵入してくる砂塵が原因と思われる)。
8	7	コンピューターノート型 (TOSHIBA DYNABOOK)	1	1	0	-	-	処分 (ディスプレイ故障・修理不可能)

[AFC:造林センター、場所/使用者/使用目的の順]

供与年度 (平成)	番号	機材名 (メーカー・規格・能力)	供与 数	処分 数	現有 数	利用 状況	管理 状況	備考 (特記事項)
9	1	ビデオ編集機器一式 (SONY)	1	0	1	B	B	第1フェーズ時から、林野局が FORCAP 及び 林野局の広報用活動取材のため、管理・使用し ている。
9	2	エアコンディショナー (NATIONAL)	4	0	4	B	A	
9	3	携帯用ビデオカメラ (PANASONIC NV-S990EN)	1	0	1	B	B	
9	4	プリンター (HEWLETT PACKARD)	1	0	1	A	A	AFC
9	5	プリンター (HEWLETT PACKARD)	1	0	1	A	A	AFC
9	6	モーターバイク (SUZUKI FD110C)	2	0	2	A	A	
9	7	モーターバイク (SUZUKI DR125)	4	0	4	A	B	
9	8	コピー機 (RICOH FT4215)	1	0	1	A	C	AFC ヴァンヴィエン事務所で使用時、落雷と電圧変 動を繰り返し受け、現在に至るまで故障が絶え ず、頻繁に修理に出している。複写の質は極め て悪い。
9	9	コピー機 (RICOH FT4215)	1	0	1	A	B	ヴィエンチャン連絡事務所 ヴィエンチャン市内のサービスショップに頻繁 に修理に出しているが、機種が古く部品の入手 が難しいため、完全には修復していない。
9	10	トレーニングテーブル	1	0	1	B	B	
9	11	小型発電機 (HONDA EG1400XKR)	2	0	2	C	B	停電時の電源として使用
9	12	実体鏡	1	0	1	C	A	必要に応じて使用
9	13	コンピューターノート型 (IBM THINKPAD 535)	1	0	1	E	C/D	AFC 造林センター所長 造林センター運営・ 管理のための資料及び文書等の作成に使用。 LCD ディスプレイ不良のためタイで修理中。

[AFC: 造林センター、場所/使用者/使用目的の順]

(10万円以上160万円未満の機材)

供与年度 (平成)	番号	機材名 (メーカー・規格・能力)	供与 数	処分 数	現有 数	利用 状況	管理 状況	備考 (特記事項)
10	1	コンピューターノート型 (IBM THINKPAD 385XD)	1	0	1	A	A	AFC 五関専門家 森林管理技術部門の業務 管理及び書類等の作成に使用
10	2	コンピューターノート型 (SONY VAIO PCG-864)	1	0	1	A	A	AFC 合原専門家 参加型森林保全部門の業 務管理及び書類等の作成に使用
10	3	コンピューターデスクトップ型 (ATEC PREMIER PRO)	1	0	1	A	A	AFC 参加型森林保全分野専門家及びC/P 広 報用資料、パンフレット等の作成、及び画像デ ータベースの作成に使用。
10	4	コンピューターノート型 (ATEC VEGUS 535)	1	0	1	A	A	AFC 岩佐チーフアドバイザー プロジェク ト運営管理全般に関する情報整理、資料作成、 報告書等の作成に使用。

[AFC：造林センター、場所／使用者／使用目的の順]

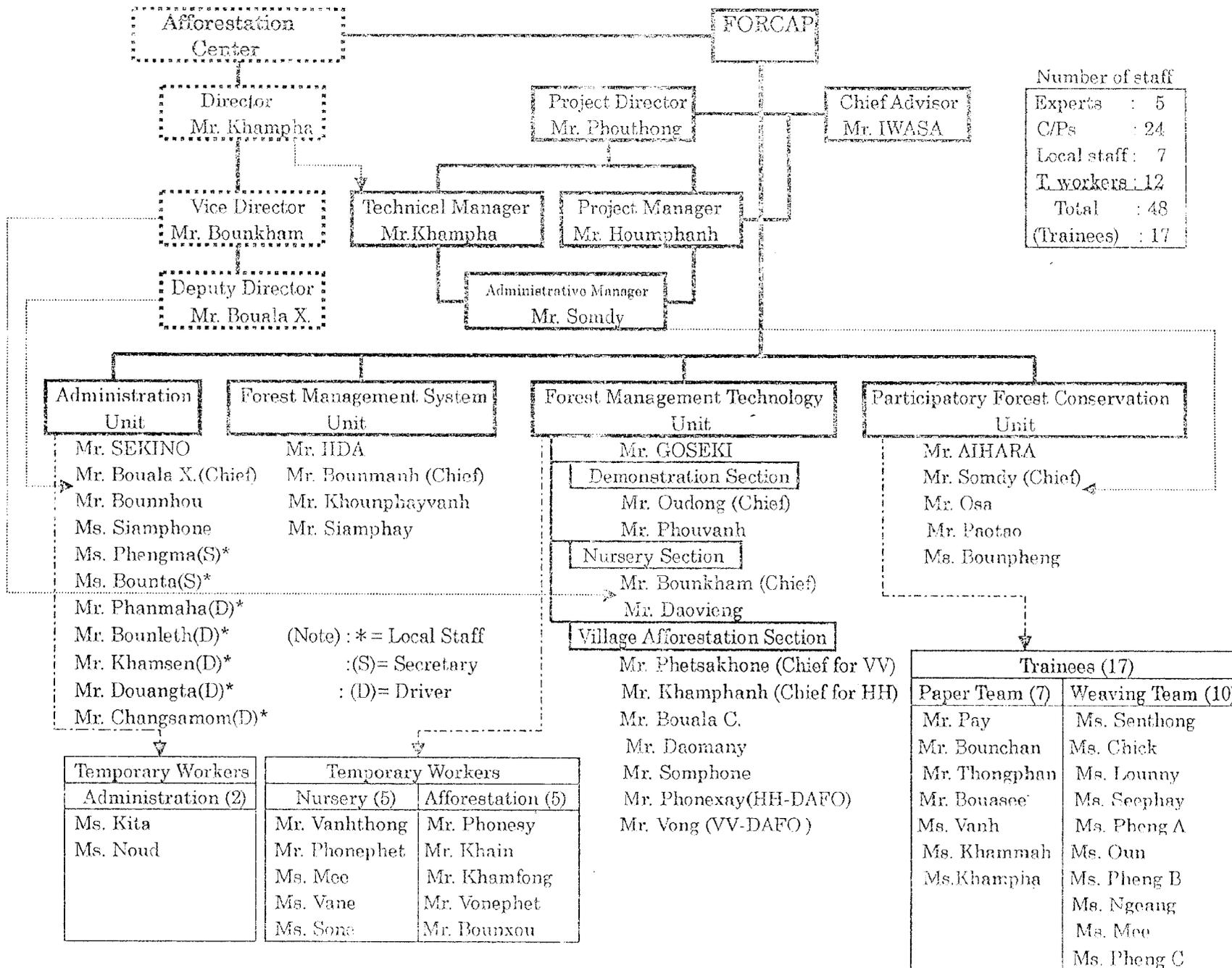
(10万円以上160万円未満の機材)

供与年度 (平成)	番号	機材名 (メーカー・規格・能力)	供与 数	処分 数	現有 数	利用 状況	管理 状況	備考 (特記事項)
11	1	草刈り機 (カネコ種苗 BC4400DW)	5	0	5	B	A	AFC
11	2	コンピューターデスクトップ型 (ATEC PREMIER PRO EXTREME)	1	0	1	A	A	AFC Mr. Khampha, Technical Manager, プロジェクト運営管理全般に関するラオス側情 報整理、資料作成、報告書等の作成に使用。
11	3	コンピューターデスクトップ型 (ATEC PREMIER PRO EXTREME)	1	0	1	A	A	AFC 参加型森林保全分野 情報整理、マニュアル等の資料作成、 紙漉き／紙布織活動の会計処理に使用。
11	4	モーターバイク (SUZUKI DR125)	4	0	4	A	A	AFC
11	5	モーターバイク (SUZUKI FD110C)	2	0	2	A	A	AFC
11	6	簡易型ココナッツ粉砕機	2	0	2	B	A	AFC

[AFC：造林センター、場所／使用者／使用目的の順]

Organization Chart of Forest Conservation and Afforestation Project (FORCAP)

1/11/2000



ラオスの森林・林業
と
森林保全・復旧プロジェクト
The Forest Conservation and Afforestation Project

FORCAP

2001年1月

資料 1	ラオス森林・林業の概要.....	1
資料 2	ラオス森林保全・復旧プロジェクトの概要.....	4
資料 3	FORCAPとNGO等との連携活動.....	7
資料 4	造林センターの概要.....	9

ヴィエンチャン県
Vientiane Province

国際協力事業団
JICA

2. 森林・林業の概要

1) 森林・林業の役割：社会・経済・環境で極めて大きな役割

- ・自給自足生活に不可欠：家作材、薪炭材、食料等の採取・利用
- ・農民の現金収入源：薪炭、動物、薬草等の採取・販売
- ・重要な外貨獲得源：木材輸出は輸出総額の約3割
- ・重要な水源地の保全：電力輸出のため全国約20のダム建設計画
- ・貴重な生態系の保全：近隣国に比較し豊かな森林生態系が存在

2) 森林の所有・利用等：国有・慣習的利用

- ・所有：林地及び天然林は国有（人工林は植林者に帰属）
- ・管理：保全林、生産林等は国が指定、管理及び経営
- ・慣習的利用：村落内森林における家作材、食料の採取等は慣習的利用として認知

3) 森林の現状：減少・劣化の進行

- ・森林の減少率：年間1.2%（約15万ha）（FAO資料）
- ・焼き畑移動耕作及び延焼：約26万世帯、約20万ha（1998年）
- ・木材伐採：伐採割当制、管理体制の不備
- ・密猟・密輸：木材、動物、薬草等

4) 森林政策：不十分な政策実施能力・体制

- ・今期（1996年—2000年）の重点施策
 - 1) 焼き畑耕作の安定化
 - 2) 造林の推進
 - 3) 木材生産体制の確立
 - 4) 保全林地域及び水源地の保全
 - 5) 林産業の生産性向上
- ・2020年までに森林率60%の目標（年平均15万haの増）
- ・2020年森林資源管理戦略の策定

6) 焼き畑耕作の安定化：代替作物・農法の開発・普及

- ・土地・森林分配事業による農地の分配・長期使用権の保証
- ・代替作物・農法の導入開発（SIDA、FORCAP等）：果樹、アグロフォレストリー
- ・非木材森林産物（NTFP）の管理・栽培：カルダモン、ベンゾイン等

7) 造林の推進：外国企業の投資、国の奨励策等により近年増加傾向。

- ・タイ、シンガポール等の資本による早生樹種造林（主に南部地域）。
- ・森林・土地分配事業による農民用植林用地の分配。
- ・ADB資金による植林用低利融資制度の創設。
- ・分収方式による造林推進の試み（FORCAP）
- ・丸太販売に植林用資金の上乗せ

(A) 1993年 2000年
15万ha
15万ha
2000年
8 (見上)

	93年	95年	97年	99年
造林面積 (千ha)	2	9	12	6

8) 木材生産：ダム湛水域の先行伐採により増加傾向。

- ・国による丸太販売量の割り当て（県・企業毎）、輸出用は国による案件毎の許可制。
- ・村落による森林経営推進の試み（FOMACOP：世銀・FINNIDA）。

	92年	94年	96年
丸太生産量（千m ³ ）	218	595	820
木材輸出額（百万ドル）			
丸太	9.6	11.9	32.5
製材	27.3	30.0	37.6

9) 森林保全：保全林の指定及び管理の推進

- ・森林土地分配事業による村落内森林の利用区分：全国約3800村（全体の33%）
- ・保全林地域（生物多様性保全地域とも呼ぶ）：全国20カ所、約300万ha

10) 国際協力：多様な国際的支援

- ・スウェーデン（SIDA）：資源調査、土地・森林分配、生態系保全、研究等
- ・ドイツ（GTZ）：村落開発、教育（国立大学林学部）
- ・世銀・フィンランド（FOMACOP：第1期終了）：村落林業、生態系保全
- ・アジア開発銀行：造林（低利融資）
- ・日本（JICA）：森林保全復旧（プロ技：FORCAP、無償：造林センター）
- ・IUCN、WWF等：生態系保全
- ・JVC等多くのNGO
（村落林管理）

ラオス森林保全・復旧プロジェクトの概要 (FORCAP)

1 概要

(1) 要請の背景とプロジェクト目標

ラオスは国土面積の80%が山岳地帯であり、森林資源が比較的豊かな国である。しかしながら、1940年代には70%であった森林が1989年には47%までに低下した。ヴィエンチャン北部に位置するナムグムダム水源流域の森林においても、無秩序な焼畑移動耕作や不適切な伐採等のため、森林の荒廃が急激に進んでいる。ラオス政府は、水源林荒廃の進行を抑え、荒廃した森林を復旧する目的で、住民参加を基本とした森林保全・復旧技術に関する技術協力を日本政府に要請した。

(2) 協力期間

- 1) フェーズI (準備フェーズ) : 1996年7月16日～1998年7月15日 (2年間)
- 2) フェーズII (実施フェーズ) : 1998年7月16日～2003年7月15日 (5年間)

(3) 相手国実施機関：ヴィエンチャン県

1) 日本側協力

- ・ 専門家派遣5名：チーフアドバイザー、業務調整、森林管理システム、森林管理技術、参加型森林保全
- ・ 研修員受入：年2～3名
- ・ 機材供与：車両、測量機材等
- ・ その他：短期専門家派遣、ローカルコスト負担

2) 他の経済・技術協力との関係

- ・ ヴァンヴィエン郡流域森林保全開発調査：1996年9月～1998年9月
- ・ 農業農村開発計画：1997年11月～2002年10月
- ・ 造林センター建設計画（無償資金協力）：1999年12月27日完成

2 プロジェクトサイト

プロジェクトサイトは、ヴィエンチャン特別市の北方、約130 kmのナムグム湖北端の流域に位置し、ヴァンヴィエン郡及びヒンフープ郡の一部である約2.8万 ha、15ヵ村を対象にしている。

3 主な活動内容と実績

(1) 森林管理システム分野

(1)-1 土地利用区分に基づいた村落毎の森林管理計画の作成

- ・ 郡農林事務所が実施する土地利用区分について、開発調査等の基礎資料をベースに技術的支援を行い、これまで13村について土地利用計画図及び森林管理計画の基本となる林班図を作成した。3村について森林管理計画ドラフトを作成した。

(1)-2 県、郡行政官、森林ボランティア、地域リーダー、住民に対する教育・訓練

- ・ 森林ボランティア、地域リーダー、住民に対しては、土地利用区分や分収林制度等の

ワークショップを開催、また、国、県及び郡行政官であるカウンターパートには、オンザジョブトレーニング等を行なっている。

(1)-3 森林保全・復旧のために必要な支援制度を改善

- ・住民参加の森林造成を進めるため、郡と村民との契約による「分収造林制度」や「荒廃地森林造成制度」等を構築し、試行実施している。

(2) 森林管理技術分野

(2)-1 森林管理技術を改良・改善

- ・展示・実証林の造成を通じて、適地適木、混植、植穴比較、直播き、保育（下刈）、防火帯、防火帯家畜被害防止試験等を設定し、データの収集を行なっている。

(2)-2 適切な森林管理技術の展示・実証林を造成

- ・これまでに 34ha（直播造林地は除く）の展示・実証林が造成された。植栽樹種は、*Acacia mangium*, *Azadirachta indica*, *Tectona grandis*, *Pterocarpus macrocarpus* 等 10 種である。

(2)-3 地域住民に目標に応じた森林管理の方法を指導

- ・村民、郡及び FORCAP の連携の下、各種ワークショップを随時開催し、土地利用区分に基づき目標に応じた森林管理の方法を指導している。

(2)-4 村落森林管理計画に基づき、荒廃地回復のための森林造成計画を作成

- ・展示・実証林の造成計画は作成された。今後、村落森林管理計画の策定に合わせ、逐次、森林造成計画を作成することとしている。

(2)-5 森林造成計画に基づき住民参加による植林と森林管理

- ・住民参加による植林等は、分収契約による植林（分収林）、児童・生徒による植林（学校林）、水源かん養林整備を実施している。これまでに、それぞれ 12 村(137ha)、10 校(9 ha)、3 村（区域面積 332ha）が造成・管理され、村民や児童・生徒により保育等の森林管理が行なわれている。

(3) 参加型森林保全分野

(3)-1 焼畑依存度を減少させる住民活動支援ガイドラインを作成

- ・住民活動支援ガイドラインが作成され、今後、その位置づけ、具体的な支援方策等、郡及び村民の意向を踏まえガイドラインの改正を進めることとしている。

(3)-2 住民活動支援ガイドラインに基づき焼畑依存度を減少させる住民活動を支援

- ・一部試行的に、果樹・野菜種子の配布やアグロフォレストリーによる定着農林業の推進、また、陸稲以外からの収入向上のための木炭生産、手漉き紙、紙布織り、草木染め等技術ワークショップ開催の支援、木材資源節約のための改良かまどの普及等の支援を実施している。

ラオス森林保全・復旧プロジェクト (FORCAP) のPDM

(H12.10.24専門家統一版)

プロジェクトの要約	指 標	指標データ入手手段	外部条件
<p>1. 上位目標</p> <p>ナムグムダム集水域下部及びその周辺地域において森林の荒廃が抑制される。</p>	<p>ナムグムダム集水域の現状の森林面積が維持される。</p>	<p>DOF (林野局) の流域管理計画資料</p>	<p>政府の流域管理政策が継続される。</p>
<p>2. プロジェクト目標</p> <p>ヴィンチャン県のプロジェクト対象村において地方行政(県・郡)の指導及び住民の自発的参加により森林の荒廃が抑制される。</p>	<p>(1) 森林保全・復旧活動に参加する農家数が増加する。(2) 焼畑耕作をする農家数が減少する。</p>	<p>土地・森林配分資料及び衛星写真</p>	<p>地方分権化政策が堅持される。</p>
<p>3. 成果</p> <p>成果1 流域管理計画の実施のために、地方行政(県、郡)と地域住民の連携した実行体制が強化される。</p> <p>成果2 地域住民に森林の持続可能な利用に必要な森林管理技術が習得される。</p> <p>成果3 村落森林管理計画に基づき、荒廃した森林用地が森林に回復する。</p> <p>成果4 地域住民の生活における焼畑依存度が減少する。</p>	<p>県・郡により承認された村落森林管理計画が15村でできる。</p> <p>各村で3家族以上の農家が林業に携わるようになる。</p> <p>ヴァンヴィエン郡及びピンフープ郡の荒廃林地で、少なくとも100haが植林される。</p> <p>焼畑以外の方法により収入を得る農家数が増加する。</p>	<p>郡業務資料</p> <p>郡業務資料</p> <p>郡業務資料</p> <p>郡・村業務資料及び調査資料</p>	<p>郡・県の関係部門からの理解と協力が得られる。</p> <p>造林目標の実施のための造林センターが建設される。</p> <p>森林保全政策が堅持され、分収林システムの促進のために、制度上の適切な位置付けがなされる。</p> <p>郡による必要な予算が確保される。</p>
<p>4 活動</p> <p>1-1 流域管理計画の土地利用区分に基づき、各村毎に村落森林管理計画を作成する。</p> <p>1-2 県・郡行政官、森林ボランティア、村落リーダー、地域住民に対する教育・訓練を行う。</p> <p>1-3 森林保全・復旧に必要な支援制度を改良する。</p> <p>2-1 森林管理技術(土地利用技術、森林復旧技術)を改良・開発する。</p> <p>2-2 適切な森林管理技術の展示・実証林を造成する。</p> <p>2-3 地域住民に目的に応じた森林管理の方法を指導する。</p> <p>3-1 村落森林管理計画に基づき、荒廃地復旧のための森林造成計画を作成する。</p> <p>3-2 森林造成計画に基づき、住民参加による植林と森林管理を行う。</p> <p>4-1 焼畑依存度を減少させる住民参加活動支援ガイドラインを作成する。</p> <p>4-2 住民参加支援ガイドラインに基づき、焼畑依存度を減少させる住民活動を支援する。</p>	<p>投入</p> <p>1 長期専門家 ①チーフアドバイザー ②森林管理システム ③森林管理技術 ④参加型森林保全 ⑤業務調整</p> <p>2 短期専門家 必要に応じて、プロジェクトに関係する分野の派遣</p> <p>3 供与機材 次の技術分野に関係する機械、器具、用具、部品、資材等 ①森林管理システム ②森林管理技術 ③参加型森林保全</p> <p>4 C/P研修</p> <p>5 ローカルコスト負担 ①造林対策費 ②啓蒙普及費 ③LLDC特別現地業務費等</p>	<p>前提条件</p> <p>住民の森林・土地の持続可能な利用の促進と森林面積の増大を政府の重要政策とする。</p>	

FORCAPとNGO等の主な連携活動

1. 天然染色ワークショップ

- 1) 団体：郡女性同盟（ラオスの党組織）
- 2) 目的：技術伝承、特用林産物の有効利用、森林管理
- 3) 実施時期：平成9年7月
- 4) 実施概要：ポンスーン村と連携して、地域の若い世代を対象に、伝統的天然染色の技能伝承と技術交換等を重点に実施。

2. 炭焼き技術研修

- 1) 団体：日本全国燃料協会及び「炭焼きの会」
- 2) 目的：林産物の有効利用、炭焼き技術移転、木材資源の節約、収入増加
- 3) 実施時期：平成9年11月、10年11月及び11年3月
- 4) 実施概要：村民、郡職員等を対象に、約2週間の製炭技術指導及び副産物の木酢液の利用方法研修及びセミナーを実施。

3. 子供絵画展

- 1) 団体：東海銀行財団
- 2) 目的：地域社会と自然保護の大切さの啓蒙・普及
- 3) 実施時期：平成10年1月
- 4) 実施概要：ヒンフープ郡及びトゥーラコム郡において、地域社会と自然のつながりをテーマにしたラオスと日本の子供の絵画を展示。

4. 織物事業指導者育成研修及び薬草知識向上研修

- 1) 団体：民間企業
- 2) 目的：技術向上、焼畑耕作代替就労、森林資源有効利用
- 3) 実施時期：平成10年1月から3月
- 4) 実施概要：プロジェクト対象村民を対象に、約1ヶ月機織技術向上（6名の研修生）、村の特用林産物（薬草）の知識向上とその利用についての研修を実施。

5. 手漉き紙デモンストレーション

- 1) 団体：高知ーラオス協会
- 2) 目的：カジノキ（和紙の原料）販売、和紙品質向上、紙漉き産業振興、収入増加
- 3) 実施時期：平成10年8月
- 4) 実施概要：郡職員、村民等を対象に3日間のデモンストレーションを実施。

6. 子供絵画コンテスト

- 1) 団体：国土緑化推進機構
- 2) 目的：森林や自然の大切さの啓蒙・普及

- 3) 実施時期：平成10年10月
- 4) 実施概要：プロジェクト近隣の小中学生約100名（10校）を対象に、植林活動、森林火災防止、自然保護をテーマに実施。

7. 紙布織り製作研修

- 1) 団体：ホアイホン職業訓練センター（民営）
- 2) 目的：和紙の加工技術習得、付加価値向上、収入増加
- 3) 実施時期：平成12年2月下旬から1ヶ月
- 4) 実施概要：FORCAP対象村村民10名を、職業訓練センターで1か月間、技能研修を受講。

8. アグロフォレストリー試験

- 1) 団体：みどりのコンビナート研究所
- 2) 目的：土壌保全（環境にやさしい）、焼畑農民の収入増加、森林保全・復旧
- 3) 実施時期：平成12年3月から3ヵ年程度
- 4) 実施概要：延焼を防止する火入れ地拵えを実施し、陸稲の播種と同時に果樹、木材生産用苗木を混食するとともに、陸稲の裏作として「そば」を導入。

9. 機織研修Ⅰ

- 1) 団体：ホアイホン職業訓練センター（民営）
- 2) 目的：機織・草木染め技術習得、付加価値向上、収入増加
- 3) 実施時期：平成12年6月初旬から3ヶ月
- 4) 実施概要：FORCAP対象村村民5名を、職業訓練センターで3か月間、技能研修を受講

10. 機織研修Ⅱ

- 1) 団体：ホアイホン職業訓練センター（民営）
- 2) 目的：機織・草木染め技術習得、付加価値向上、収入増加
- 3) 実施時期：平成12年12月下旬から3ヶ月
- 4) 実施概要：FORCAP対象村村民6名を、職業訓練センターで3か月間、技能研修を受講

11. 縫製研修Ⅰ

- 1) 団体：ホアイホン職業訓練センター（民営）
- 2) 目的：縫製基礎技術習得、収入増加
- 3) 実施時期：平成12年12月下旬から3ヶ月
- 4) 実施概要：FORCAP対象村村民2名を、職業訓練センターで3か月間、技能研修を受講

造林センターの概要

1. 目的

焼畑等により森林減少・劣化の著しいヴィエンチャン県ヴァンヴィエン郡を中心とする地区において住民参加を基本とする森林保全・復旧を推進するため、技術の開発・普及、植林及び村落開発等に必要活動の拠点とする。

2. 具体的活動

- (1) 技術の開発・普及：展示林等における植林技術の開発・普及
- (2) 植林：苗畑における苗木の生産、植林の実施
- (3) 村落開発：生活・生産環境の改良
- (4) 上記に関する県・郡職員及び住民の訓練・研修
- (5) 上記に関する成果の展示

3. 施設の概要

(1) 主な施設

管理・研修棟：事務室、会議室等

簡易宿舎：専門家・職員等の宿泊施設

苗畑施設：苗畑、作業場等

その他：食堂、車庫、守衛室、給水塔、展示室

(2) 工事費

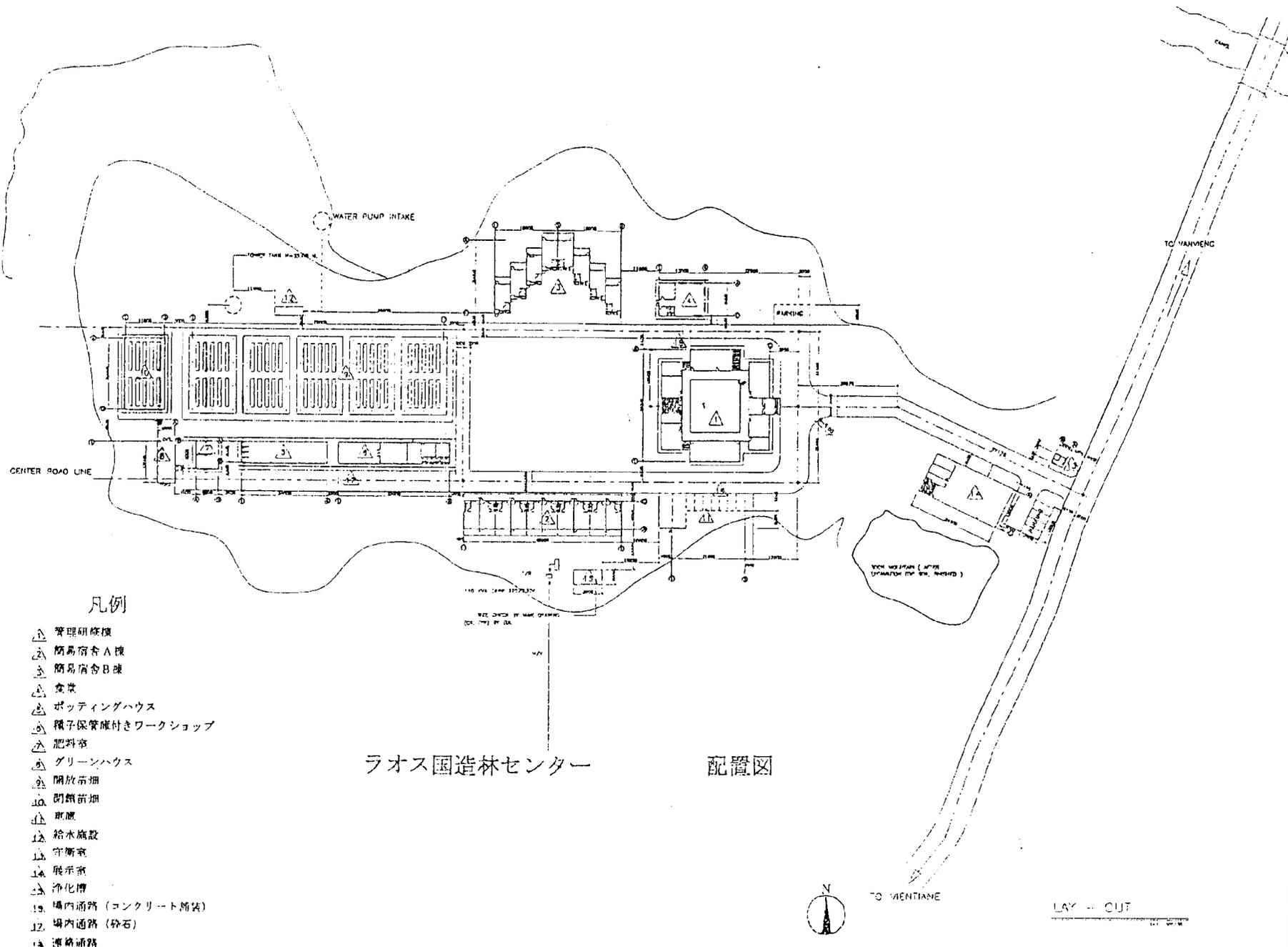
416百万円

(3) 工事期間

平成11年2月～12月

竣工：平成11年27日

引渡し式：平成12年2月15日



凡例

- △ 管理研修棟
- △ 簡易宿舎A棟
- △ 簡易宿舎B棟
- △ 食堂
- △ ポットینگハウス
- △ 種子保管庫付きワークショップ
- △ 肥料室
- △ グリーンハウス
- △ 開放苗圃
- △ 閉鎖苗圃
- △ 取原
- △ 給水施設
- △ 守衛室
- △ 展示室
- △ 浄化槽
- 19 場内通路 (コンクリート舗装)
- 12 場内通路 (砂石)
- 13 連絡通路

ラオス国造林センター

配置図



LAY - OUT